



たまだれ
No.59

玉垂

Tamadale



特集

おほらえ

“祓い”と“清め”の伝統 “大祓”に学ぶ

～1200年前から伝わる日本を心安らかな国へ導く古の祝詞～

例祭の斎行 —大神様に捧げる日々の感謝のこころ—

特別寄稿文

だし屋 (有)西尾商店
専務取締役

西尾透雄 / 老舗が守り伝える ～100年の伝統とだし文化の普及～

公益社団法人 静岡県茶業会議所
専務理事

伊藤智尚 / 新茶で健やかに明るい毎日を

遠江国一宮

小國神社の由来

創

始は神代と伝えられ、延宝八年（一六八〇）の社記によると、人皇二十九代欽明天皇の御代十年（五五五）二月十八日に本宮山峯（本宮山）に御神霊が顕れた後、勅使が遣わされ、山麓約六キロの現在地に社殿を造営し、正一位の神階を授けられました。

それ以来、年々御神前に幣帛を捧げられ文武天皇大宝元年（七〇一）春十八日に勅使奉幣の際、特に十二段舞楽を奉奏されました。延喜七年（九〇七）延喜式内社に列せられ、中世には徳川家康をはじめとする武将など、朝野の崇敬が極めて篤く近世に至っております。

元亀三年（一五七二）の戦では、家康公は御神霊を別所に遷し、願文と三条小鍛冶宗近作の太刀を奉り戦勝を祈願した後、社殿を全て焼失しました。

天正三年（一五七五）に勝利を得た家康公は、御本殿の造営、拜殿・楼門を再建され、更に社領五九〇石の朱印を奉り、以降世々の徳川將軍家より、社殿の改造・修復料を寄進されました。

明治六年六月十三日に国幣小社に列せられ、明治十五年三月に再度の火災により御本殿以下建造物など消失しましたが、明治十九年に復興され現在に至っております。平成十七年には御鎮座一四五〇年祭が斎行され、『遠江国の一宮さま』として崇敬され広く親しまれております。

また、平成十五年九月十四日には、秋篠宮文仁親王殿下同妃紀子殿下のご親拝を賜り、平成十八年十一月八日には、神宮祭主池田厚子様のご参拝、平成二十九年四月二十九日には、高円宮妃久子殿下のご親拝を賜りました。



小國神社のはじまりから
現代までの壮大な物語

小國神社ものがたり
ご祭神とともに

公式ウェブサイト特設ページで
スペシャルムービー公開中

小國神社ものがたり

日本の神様の物語は
『日本の良き国柄』、『伝統』、『文化』を
今に伝えています。

この物語は、静岡市在住の絵本・造形作家のたたらなおきさんよりご奉納いただいた全長約七メートルの絵物語をもとに作成をしたアニメーションです。神代より語り継がれてきたお話には、

日本人の「豊かで優しい和の心」の原点が描かれています。神々の営みの中から「正しい道筋をたてて生きてゆくことの大切さ」や、「思いやりのこころ」を学びましょう。



思いやりの心で人と人との距離を確保しながら参拝する皆様（令和2年4月5日）

癒やしの齋庭^{ゆにわ}

初夏のもみじが美しい季節となつてまいりました。開園より五十余年の歴史を有する一宮花しようぶ園は、懸念されてきました中国武漢市発の新型コロナウイルスの影響により、一週間遅らせての開園となりました。一方で、神々が運ぶ自然の巡りは変わることなく、穀雨の恵み受け園内の花々が美しく咲き揃い、ご神域では杉と檜の杜に囲まれた『青葉もみじ』も清々しく輝いています。

さて、昨今、インターネット、SNS、新聞、テレビなどでニュースを眺めていますと、コロナ対策への批判記事が溢れ、まるで生活の変容によるストレスを発散しているようです。ただでさえ、違和感のある自粛の期間を経て、少しずつ新しい生活へと国民が馴染もうとするなか、そういった目的有りのニュース、はたまたSNSの拡散機能を悪用したフェイクニュースのようなものを毎日見続け、さらに気持ち沈んだ方も多いのではないかと思います。

また、緊急事態宣言が発出される中、医療従事者やその家族に対する偏見が問題となりました。目に見えない感染症による不安が招いた他者への攻撃は、利己的側面が如実に表れた悲しい行為です。経験したことのない非常事態に、『身体の健康』はもちろんのこと、改めて『心の健康』が社会生活においてどれほど大切なことを意識された方も多いかと思えます。

我が国には古来より、『安寧』を神々へ祈る麗しい精神文化があります。その祈りは行動と結びつくことではじめて、ご加護を戴けるものと存じます。

冷静に統計から判断すると、我が国における人口当たりの死者数は、他国と比べてとても低く世界的には感染拡大をかなり小さく押さえ込んでいるのは間違い有りません。

この要因（ファクター）については、日本の政治判断、高度な医療体制、日本人の精神性や衛生意識の高さ、あるいは遺伝的特徴など実に様々な可能性があり、専門家の間で検証されています。いずれにしても、『成功している事実』を受け、何が奏功したのか、科学的な検証をもって、今後に生かすことが肝要に存じます。

他方、本県川勝知事は、全国知事会で、「防衛・防災・防疫」が国防の三本柱との認識を示し、感染症の治療薬・ワクチンの開発と医療体制の充実強化を訴えられました。かつての日常を取り戻すにはこれしかない、と思い敬服致した次第です。

境内を見渡すと、マスクの着用はもちろんのこと、お互いを思いやりながら、距離を保ちつつ、ご参拝されている様子を多数見受けられます。ご参拝の折は、お時間の許す限りゆっくりとご神域を散策され、季節の移ろいを感じながら、心と身体を癒やして戴ければ幸いに存じます。

令和二年六月五日

例祭特集

今、改めて「お祭り」の

意味を考える

例祭とはどのようなお祭りでしょうか

神 社にとって最も重要な祭祀の一度執り行います。その神社やご祭神にとって特別に由緒あるお祭りで、俗に例大祭とも称されます。

当社では、ご祭神大己貴命（おおなむちのみこと）が本宮山に鎮まったとされる吉日です。

神社における「お祭り」本当の意味とは

お 祭りというと、デパートのお客様感謝祭や、文化施設などでは、国際映画祭、芸術祭、あるいは最近流行のオクトーバーフェスト・音楽フェスなど賑わいを見せるイベント的な意味合いで使われることもあります。神社においてもお祭りによっては、

行列が登場し、笛や太鼓の調べが流れ、屋台が立ち並ぶなどの賑やかな部分もあります。

しかしながら、神社でのお祭りの本当の意味は、そのような賑やかな部分も含め、心身を清め、神様に対面し感謝の真心を捧げることにあります。

「まつり」の語源

ま つりの語源は、神様のお力に
従い奉仕する「まつらふ」という言葉に由来するとされています。

また、「まつり」という言葉には「待ち」という意味も含まれています。太古の昔、神様は遠いところからいらっしゃり、山や岩そして木などに宿ると考えられてきました。

このようなことから、神様が現れることを「待ち」、ご神威に服することが「まつり」の語源であると考えられています。

大前に額づき捧げる

「感謝」と「祈り」



例祭 大神様へ神饌(しんせん)を▲
供える神職(令和2年4月18日)



責任役員の皆さまによる▲
玉串拝礼(令和2年4月18日)

例祭の齋行

大神様へ捧げる誠まことの心

本年、例祭の約一ヶ月前の三月十一日にWHOのパンデミック宣言がなされ、国内外の状況も刻々と変化する中、四月七日に日本政府による七都道府県を対象とする緊急事態宣言が発出、例祭齋行の二日前の四月十六日には、緊急事態宣言が全都道府県へと拡大となりました。

本年は、時々刻々と局面が変わる中、状況を総合的に判断し感染症予防対策を徹底しての例祭期間となりました。

四月十六日(木) 垢離祭の齋行

末社塩井神社の垢離祭の齋行を致しました。このお祭りは例祭を齋行するにあたり、神職・舞楽人が身を清める為の塩水を汲むお祭りです。本年は、神職のみの齋行となりました。



▶ 御神燈・雪洞の献灯(4月19日)



▶ 垢離祭 塩井より塩水をいただきます



▶ 塩湯で神職・参列者などを祓い清めます



▶ 本年の参列者は10分の1まで縮小いたしました

四月十七日(金) 前日祭の齋行

十六日の緊急事態宣言を受け、十七日午前、職員会議を開催、例祭期間中の祭祀、涉外、広報の方針を決定いたしました。

前日祭は、午前十時齋行、責任役員皆さまご参列のもと齋行いたしました。

一同、例祭が恙なく齋行されるようお祈りをいたしました。

四月十七日(金) 神職参籠

例祭前夜の参籠(飲食や行為を慎み、不浄を避けて心身を清浄に保つこと。お籠もり。)においても齋食、就寝場所を含む接触機会を減らすことを徹底し、参籠いたしました。



四月十八日(土) 例祭の齋行

本年の例祭は、参列者を十分に縮小し、責任役員の皆さまと神子舞の奉仕者の皆さまがご参列のもと齋行いたしました。四月十九日の神幸祭の取りやめを決定した際、奉納神事、町指定無形民俗文化財「神子舞」も中止と致しましたが、保護者、奉仕者の強い希望を受け、十八日の例祭当日に変更しての奉納が実現いたしました。大前に一糸乱れぬ舞が厳粛に奉納されました。

当日は、静岡新聞、中日新聞の記者らが取材に訪れ、インタビューが行われました。奉仕者は「気持ちの一つに舞うことができ、良い思い出となった」と清々しい笑顔を見せていました。大神様もさぞお慶びのことと存じます。

冷静なご判断のもと、奉納を希望された原田多加資指南役、奉仕者の皆さまに深く感謝を申し上げます。

職員一同、大神様へ日々の感謝を捧げ、国の隆昌、地域の安寧そして世界の平和を祈念するとともに、一日も早い、感染症の終息をお祈り申し上げます。



例祭齋行後 宮司による挨拶



▲一糸乱れぬ美しい舞が奉奏されました



▲奉納後、記者のインタビューに答える子供たち

森町指定無形民俗文化財神子舞(巫女舞)

当社の巫女舞(御神楽)は、天正18年(1590)の「遠州小國一宮天宮神領之事」が初見で、400余年の伝統を誇ります。

延宝6年(1678)の「配当帳」に「御子 式部・蔵人・鞆負・斎」とあり、すでに近世初期には4人の舞となっていたと記され、現在でもその形は継承されています。

現在の指南役、原田多加資様は伝統文化の継承に尽力されています。



指南役 原田多加資
奉仕者 菅沼遥弥
田代こはる
木下芽己
鈴木菜杏

神子舞奉仕者御芳名
(敬称略・順不同)

新聞各社に掲載

静岡新聞(令和2年4月19日)

浜松・遠州

神子舞に安寧祈る
森町・小国神社 例祭

森町一宮の小国神社で18日、例祭が営まれ、宮司ら神職が日々の暮らしの安寧と発展を祈り、子どもたちによって伝統の神子(巫女)舞が奉納された。新型コロナウイルスの感染防止のため、古式十二段舞楽(国指定重要無形民俗文化財)の奉納や、ご神霊がお遊りをする神幸祭など例祭に伴う諸神事は自粛し、関係者のみで実施された。

拝殿で行われた神事の中で、400年続くといわれる神子舞が地元宮園小学校の女子児童4人によって披露された。巫女の衣装を身にまとった児童らは右手に鈴を持ち、美やびやかな龍笛や太鼓の音に合わせて優雅に舞った。(土屋祐二)

中日新聞記者コラムハーフタイム(令和2年4月27日)

森町の小国神社例祭 舞もいったんは中止と「神子舞」が奉納されたが、世の平安を願う神事としての奉納が決まった。大人が揺れる間も、子どもたちは練習を重ね、準備してきた。奉納を終えた地元宮園小学校の木下芽己さん(こ)は「練習は大変だった祭は神職ら少数の関係者のみで実施。諸僮事者が自粛される中、神子」

森町一宮の小国神社で18日、例祭が営まれ、宮司ら神職が日々の暮らしの安寧と発展を祈り、子どもたちによって伝統の神子(巫女)舞が奉納された。新型コロナウイルスの感染防止のため、古式十二段舞楽(国指定重要無形民俗文化財)の奉納や、ご神霊がお遊りをする神幸祭など例祭に伴う諸神事は自粛し、関係者のみで実施された。

拝殿で行われた神事の中で、400年続くといわれる神子舞が地元宮園小学校の女子児童4人によって披露された。巫女の衣装を身にまとった児童らは右手に鈴を持ち、美やびやかな龍笛や太鼓の音に合わせて優雅に舞った。(土屋祐二)

中日新聞(令和2年4月19日)

安寧願

森町・小国神社例祭

森町一宮の小国神社で18日、例祭が営まれ、宮司ら神職が日々の暮らしの安寧と発展を祈り、子どもたちによって伝統の神子(巫女)舞が奉納された。新型コロナウイルスの感染防止のため、古式十二段舞楽(国指定重要無形民俗文化財)の奉納や、ご神霊がお遊りをする神幸祭など例祭に伴う諸神事は自粛し、関係者のみで実施された。

拝殿で行われた神事の中で、400年続くといわれる神子舞が地元宮園小学校の女子児童4人によって披露された。巫女の衣装を身にまとった児童らは右手に鈴を持ち、美やびやかな龍笛や太鼓の音に合わせて優雅に舞った。(土屋祐二)

清浄な灯りをご神前に

大前を照らす御神燈献燈

清浄な灯りをご神前に

本年の例祭におきましても多くの氏子崇敬者の皆様より、御神燈と雪洞を献燈いただきました。

灯りには元来「火」がつきもので「火」は清め祓いに用いる清浄なものです。

また私たちの祖先は「火」そのものが諸霊を呼び込むものと考えてきました。

大前に灯りをお供えすることは、照明としての意味と、ご神域を清浄に整える二つの意味があります。

ここに改めまして御芳名を掲載し、重ねて御礼を申し上げます。

御芳名

(敬称略・順不同)

- 大石 糀店 森 町 豊田合成(株)森町工場 森 町
- 大沼建設(株) 森 町 (株)長谷川製作所 埼玉 県
- 岡野建設(株) 森 町 (有)破魔矢奉製所 神奈川 県
- 小倉商店 森 町
- 春日屋青果店 袋井市
- 京都奉製(株) 森 町 常陸神宝(株) 茨城 県
- 倉見建設(株) 森 町 (株)丸井紙店 山梨 県
- 倉さのや会館あしかび 森 町 みどり写真館 森 町
- 袋井町 (有)宮崎モーターズ 森 町
- 袋井町 森 町
- 茨城県 森 町
- 森 町
- 袋井市 森 町
- 島田市 リリーフ(株) 森 町
- 榛葉工業
- (株)三愛工業
- (株)三永
- (株)松鶴

神賑わいの灯り雪洞献燈

御芳名

(敬称略・順不同)

- 小国ことまち横丁 (株)鈴木長十商店
- 小国ことまち横丁 (株)ネクススコローポレシジョン
- ことまち夢小径 (株)鈴木長十商店
- (有)ヤマニシ建築
- かななび
- あさひな(株)
- (株)久米吉
- (株)伸孝
- (有)太田茶店
- (株)ダイゴ
- 保食や
- (有)朝比奈造園
- 青木恒産
- (株)鈴木建築
- 胡社斎
- (有)西尾工務店
- (株)鳶の友誠
- 長岡香料(株)静岡工場
- 森のどうぶつ病院
- サンフード機販(株)
- 静岡工場
- 三木の里
- カントリークラブ
- ヤマハ発動機(株)
- 森町工場
- 松田歯科医院
- (株)太雄工業
- (有)アマノ
- 西村医院
- (有)大井製作所
- びあタウンシャトー中川
- (有)オーキッド
- 金山化成(株)
- シズオカ工場
- 烏骨鶏苑
- ヤスマ(株)静岡工場
- 大同DMソリュション(株)
- 静岡工場
- (株)山本環境整備
- (株)ザ・フォレスト
- カントリークラブ
- 松浦製茶(株)
- (株)菓匠 あさおか
- (株)八幡屋茶舗
- 野口園
- 亀山銀男
- (有)富士鉄工
- 小国神社氏子青年会
- 松ヶ谷診療所
- 小国神社敬神婦人会
- (株)ツカモト
- 遠州みもろ焼
- (有)アカネ造園土木
- 神宏クリーンサービス(株)
- メイクアップ(株)
- 浜松ロール製作
- 旭自動車
- (株)デイトナ
- (有)北島電気工業
- フナギテック(株)
- (有)守屋モーター
- (株)ジエイエイ遠中サービス
- (有)ムラマツ住建
- (有)今泉土木
- かねとよ(株)

- 加藤修・孝尚事務所
- 田中屋酒店
- カルト(株)
- (有)インテリア村松
- (株)アイムファイブ
- (株)やまひろ関東工場
- (有)エムケイデンキ
- 長谷川建具店
- 中井商事(株)森工場
- ITAMAE 遊穂
- (株)一宮
- マルミ塗装
- 暁雲窯
- 木創工房 森童
- 鈴木土建(株)
- 清水商店
- ビューティサロン
- タカヤナギ
- 真田の森
- 高柳米穀店
- カレもりまち
- (有)遠州ボデー
- (株)大塚彫刻工芸
- カットハウスオオタ
- 高木建築
- さくら水道
- (有)萩原造園
- (有)渡辺防水工事
- (有)タカギ商会
- (有)すずぎ工業
- 鈴伍酒店
- 遠州中央農協
- 園田支店
- ヘアーサロンタカギ
- (株)関東甲信クボタ
- 遠州森営業所
- 森のびようしつ
- 山本フミコ美容室
- (有)多米建設

- 美容室たけしの店
- 一ノ宮郵便局
- (有)栄産業
- 入鹿ハム
- (有)金原石油
- (株)アコルトパッケージ
- (株)家本工務店
- 乗松刃物
- 建機工業(株)
- 楽酒処 駿
- 鈴木美容院
- 工房HAL
- なかね美容室
- (有)共栄土建
- 東京理容
- (株)日本温装工業
- サイクルショップ
- パストラーレ
- (株)袴田製作所
- 森町工場
- 豊一商店
- 百々や
- (有)石田茶店
- 栗田商店
- (有)鈴木次郎商店
- 日本工機(株)

献詠祭の斎行

天皇陛下のご即位を祝し、令和元年5月1日午前0時より
当社ウェブサイトトップで掲載しました（杭迫柏樹揮毫）



◀ 澄み渡る小國ブルーの空



四月十七日（金）午後二時より、ご奉納いただいた和歌をご神前にお供えし、献詠祭を斎行いたしました。

本年の兼題は、「令和」と「空」で、氏子崇敬者の皆さまより作品を募りました。

和歌は、神代から伝わる文化として今日まで続いています。日本最古の和歌は、古事記にも記述があり、須佐之男命が櫛名田比賣の為に新しい宮殿を建てたときに詠まれた歌が始まりとされています。

少ない文字数に込める気持ちは言葉に魂が宿るとされる我が国の言霊信仰にも繋がります。

本年は、目出度く一〇〇歳の節目を迎えた氏子崇敬者や広島の地からも献歌があり、世代を超えて心に響き合う和歌の素晴らしさを感じて頂きたく存じます。

ここに、ご奉納いただきました作品とご芳名を掲載し、重ねて感謝申し上げます。

（順不同・敬称略）

兼題 「令和」

幾山河あえぎつ越えし日もありき

令和の御代の澄みし大空
森 町 川嶋 ひで

踏みだした澄ゆく令和新元号
理想の花を絆で咲かそう

森 町 加藤あや子

花の舞ふ令和の杜に額づきて

人の世の幸祈り鐘打つ

森 町 小池まさ子

青空も空気も青し花開く

令和二年もすこやかなれと

広島市 河野 久子

深呼吸もろもろ一気に吹きとばせ

令和薫風さはやかにわたる

菊川市 牧野百里子

兼題「空」

青き風目覚めの季節と優しげに

桜伸びする日本の朝に

浜松市 宮本 幸子

空高く上る大風遠く見ゆ

初の子よすこやかであれ

森 町 川嶋 ひで

見あぐれば無限に広がる碧き空

綿雲静かに天空流る

森 町 加藤あや子

遙かなる空の果てまで青き空

寄り添う白雲見るな雲海

森 町 加藤あや子

仰ぎ見る青空清し昼さがり

白雲重なり美しき雲海

森 町 加藤あや子

空高く万葉のさくら競い咲く

小國の杜は尊かりける

森 町 小池まさ子

神武天皇御腰石あり安芸の国

見上ぐる空青し今日も好日

広島市 河野 久子

山菜を摘みて見上ぐる空青く

みなぎる力ふつふつと湧く

広島市 河野 久子

九十路過ぎ伸ばす背筋や春うらら

つくし探しの青空まぶし

広島市 河野 久子

大空は夢のキャンパスのびやかに

龍をかいいたり虹をかいいたり

菊川市 牧野百里子

建国を祝ふ日の丸見上ぐれば

小国ブルーの空日本晴れ

菊川市 牧野百里子

子育ても大学入りでひとくぎり

空の妻へとほほえみ送る

森町 こうぼくこうねん

新責任役員・新総代

就任のご報告

新たな体制のもと、神社の護持とさらなる発展に向けて

令和二年四月一日に、総代就任奉告祭が行われ
引き続き総代会にて責任役員が選出されました。

ここに、ご芳名を掲載させていただきます。今
後とも宜しくお願い致します。

責任役員

責任役員 亀山 銀男 米倉 龜山 銀男

責任役員 小澤 芳巳 赤根 藤田 昌宏

責任役員 松井 宏悦 赤根 近藤 光彦

責任役員 村松 藤雄 橘 山田 孝

責任役員 大場 孝侑 草ヶ谷 小澤 芳巳

責任役員 鈴木 晃 草ヶ谷 大場 満明

総代

宮代西 宮谷 宗良 円田 田中 秀司

宮代西 藤塚 英一 谷中 村松 瑞香

宮代東 松尾 正樹 谷中 西尾 貞雄

宮代東 内山 博文 中川上 村松 幸範

谷崎 岡本 光市 中川上 伊藤 光男

谷崎 中村 康夫 中川下 村松 藤雄

片瀬 村松 国夫 中川下 村松三喜男

片瀬 大野 俊明 牛飼 大場 敏孝

大久保 天野 智行 牛飼 三沢 義夫

大久保 山崎 通夫

老舗が守り伝える

～100年の伝統とだし文化の普及～



だしの西尾商店

専務取締役

西尾透雄

この度は、有り難いご縁をいただき、お声かけをいただきましたこと、誠に有り難く御礼申し上げます。日本の食文化を見つめ直し、本来の意味で美味しいものをいただき健康になろう！との思いから日々、仕事をさせていただいています。

弊社は、明治三十九年に静岡県庵原郡岩淵村（現・富士市）で現在代表取締役社長の西尾公伸の祖父である西尾栄太郎が創業し、今年で一五十年目を迎えました。大正七年、およそ一〇〇年前に岡山県で製造された削節製造機を初代栄太郎が導入したことが静岡県の削節産業の先駆けとされています。

蒲原は平成十八年三月に静岡市へ編入合併し清水区の一部となりました。当地は、江戸時代に整備された東海道五十三次にある第十五番目の宿場町で、現在はJR新幹線や在来線、東名高速道路、国道一号線が通る東西交通の要衝となっています。

沿岸部には、豊かな自然環境を背景に船曳網漁業によるシラスやサクラエビ、定置網で漁獲されるイカ、アジ、サバ等や延縄漁等により海底に棲むヒラメ、イセエビ、キンメ、ムツ等が漁獲されます。このような豊かな海の幸に恵まれていることから、水産加工業が盛んで、現在十数店舗となった削節製造加工業社も最盛期には約六十店舗ほどあったと聞いています。

ところで、弊社の主な取引先は現在も、飲食店、小売店の皆様です。実は、今から三十年程前に一つの転機が訪れました。当時、チェーン店などが進出し始めた頃、町のそば店などの飲食店はまだ、不景気とは程遠く賑わいを見せていました。

しかしながら、先を見据えた代表の西尾公伸は、厳選したこだわり原料の仕入れに切り替え、切削技術をさらに磨き、大手会社との価格競争とは一線を画し、品質に重点を置くことで、町の飲食店が大手会社にも勝てるお手伝いができるようにと大きく業務転換を行いました。その結果、弊社のブランドが今に繋がる評

価を頂いているといっても過言ではありません。平成三十年、それらの業務転換が功を奏し小売部門では、名誉な出来事がありました。二月に大阪で開催された第六十四回全国水産加工たべもの展において最高賞である農林水産大臣賞を「いわし削節」が受賞いたしました。さらに、同年十月、第五十七回農林水産祭にて「天皇杯」を拝受する栄誉に浴しました。この賞は、一年間に農林水産大臣賞を受賞した中から選出され、農林水産七部門において各部門一つのみに与えられる真正正銘の国内最高賞とされています。



だしの学校



▲海を越えてだし文化を伝える



受賞の理由は、初代西尾栄太郎によって静岡に伝えられた「いわし削節」を四代に亘り、継承し、庶民の味として愛されていること、そして、だし離れと囁かれる現代に、だし文化の普及を目的として『だしの学校』を開校した事によるも



▲最高賞「天皇杯」受賞
～元祖蒲原いわし削り～



◀授賞式 西尾専務ご夫妻

のと伺いました。

同年十一月二十三日に明治神宮会館にて表彰式が開催され、吉川農林水産大臣より杯を授与されました。その際、長谷水産庁長官と水産業の現状について対談する貴重な時間を頂きました。

翌年、一月十八日には、恐れ多くも天皇皇后両陛下（現上皇皇后陛下

下）へのご拝調の誉れに浴することになりました。農林水産省から専用バスに乘車し、皇居内をご案内して頂きました。一般参観では立ち入ることの出来ない、紅葉山に登り、御養蚕所や桑の葉畑さらには、陛下がお田植えをなさる水田を見学することができました。ご拝調は、一般参賀が行われる長和殿の北車寄から参内し、北留（玄関ホール）にて行われました。農林水産部門受賞者七社（団体）の中で、水産部門受賞者である弊社が最初に業績報告をするとの事でした。

両陛下との距離はわずか数十cm、吐息も体温も伝わるような空間を肌で感じ、極度の緊張の中でしたが、最も印象深かったことは、両陛下のお優しいお言葉と包まれる様な暖かさでした。両陛下が目の前におられた感動と感激は今でも忘れません。

さて、日本の食文化の源でもある「だしの伝統」は、長きに亘り継がれてきました。しかしながら、だしは世界で脚光を浴びているものの、一般消費者の間では料理の基本としての認識が希薄なことが実情です。手間がかかるだし取りを補うために、だしの代替品である便利な調味料が普及しています。このような「本物」を知る機会の喪失は、食文化を伝承していく上でも、重大な支障が生じると考えられます。そこで、「だしの学校」を開校し、改

めて、だしの良さ、効果に触れて頂き、食文化を見直して本当の意味で、「美味しくいたただきながら健康になろう！」を目標に取り組んでいます。平成二十八年の開校から四四〇名を超える受講者を数えております。

この度は、様々なご縁により、遠江国一宮小國神社様に弊社の「いわし削節」をご紹介させていただき、現在、小國神社の門前「ことまち夢小径」に、「いわし削節」を始め、こだわりの削節を販売させて頂いております。

海は山から流れる川の恵みを受け、豊かな海が育まれます。山の幸が溢れる森町の地に蒲原の豊かな海の幸をお届けすることはとても意義深く、大変ありがたいことであると感謝いたします。

小國神社へのご参拝の後には、山の幸とともに、自然の恵みを頂いて出来上がった蒲原の海の幸も是非、ご賞味下さい。

現在、西尾商店は大学とのコラボ企画を進めながら、だしの多様性について、産学共同研究にも積極的に取組んでいます。地元特産品である『いわし削節』を全国、そして世界へと広めていく活動をしてまいります。

今まで以上に、こだわりの厳選原料を高い切削技術で製造し、既存のお客様へのサポートはもちろんのこと、新しいお客様の開拓そして、ユネスコ無

形文化遺産に登録された「和食」の基本である「だし文化」の継承活動に進じてまいります。

老舗が守る歴史と、削節業界を牽引していく新しい歴史を生み出し、業界の発展を支えて行くとともに「本物」を伝える伝道師として様々なことにチャレンジしていきたいと思っております。



公式ウェブサイト

プロフィール

（有）西尾商店 専務取締役

西尾透雄

庵原郡蒲原町（現清水区蒲原）に昭和49年5月に工務店を営む父勝美、母正子の次男として生を受ける。幼少より父の背中を見て育ち、将来は兄と工務店を継ぐべく、都内のゼネコンへ就職、大規模建物を中心に施工管理を行う。当時、交際していた西尾商店代表取締役 西尾公伸の長女との結婚を機に商品の製造、販売、企画、営業に従事するとともに、だし文化普及を目的とした『だしの学校』を平成28年に開校する。平成30年には、『いわし削節』農林水産大臣賞受賞、同年10月に『いわし削節』が国内最高賞である農林水産祭『天皇杯』拝受。現在、（有）西尾商店専務取締役

神明奉仕

明き清き誠の心

巫女 鈴木琴葉

日々、沢山の祭典や神事をご奉仕する中、新しい事柄を学ぶことができ、とても嬉しく思います。

神社という神聖な場所でご奉仕させていただいているので、まずは、お作法をしっかりと学んでゆきたいと思います。

一日も早く、日々の社務を覚え、祭祀舞に習熟し、ご参拝の皆様にご奉仕してまいります。

今後とも変わらないご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



巫女 渡邊つかさ

小國神社に、ご奉仕させていただき、早くも二ヶ月が過ぎました。

環境も変わり、学生時代とは全く違う生活の中で毎日がとても新鮮に感じております。

神社では、まず、お作法や言葉遣いを美しくするため、気を遣わなければなりません。改めて、勉強になることばかりです。

祭祀舞を始め覚えることがとても多く、戸惑うことも多々ございますが、一日にも早く社務に習熟し、ご参拝の皆様を明るくお迎えしてまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



巫女 平出董子

小國神社には、一四〇〇年以上の永きに亘り、守り伝えてきた歴史と伝統があります。その歴史を思うと背筋が伸びる思いです。

神社でのご奉仕は、毎日が新しいことの連続です。戸惑うことも多々ありますが、先輩方を見習い一日も早く社務やお作法そして、祭祀舞を身につけたいです。

参拝者の皆様にご奉仕しよくお参りして頂けるように一生懸命ご奉仕してまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



神々とお祭り

私たちの祖先は、かみまつ神祭りのなかから
生き方を学び信仰の礎としてきました。

また、古くからの伝承や歴史をふまえ、
豊かに暮らす知恵を生活のなかに生かし、
神々と生活をともにしてきました。

毎年同じ時期にお祭りが
繰り返し行なわれ、
私たちはその中で信仰や
文化をかたちづくってきました。

「お祭り」とは、
日本の伝統にもとづいて、
神々に対する祖先のこころを
今に伝える大切なかたちです。



特集

おほらえ 祓い・清めの伝統 “大祓” に学ぶ

日本を心安らかな国へ

導く古の祝詞
いにしえ のりと

「大祓」

大祓とはどのような儀式でしょうか
宮中行事から民間へ

今もなお、全世界が中国武漢市発新型コロナウイルスによる様々な影響と戦っています。我が国においても、予断を許さない状況ではありますが、一致協力して困難を乗り越えて明るい未来に辿り着きたいと思えます。

人類の歴史は、疫病や天災との戦いの歴史と言っても過言ではありません。様々な危機があり、全国津々浦々の神社は未曾有の危機にあっても『祈りの場』としての役割を担ってきました。

現在、小國神社には、稲の無事の収穫を祈る祭祀を始め、日々の平安を願い、疫病鎮静や災いを除けるお祭りや神事が多数あります。

当社では、災い除け・疫病鎮静の信仰が古くから息づき、恒例祭典としては、一月に御弓始祭、厄除大祭、二月には節分祭、十一月には疫神齋、そして、六月と十二月には夏越大祓式、師走大祓式を斎行しています。

このように、古来より神社には厄災から国と人々を守るために祈り続けてきた歴史があります。

本特集では、六月と十二月に行う『大祓式』と『大祓詞』にスポット当て、その心と歴史に触れてゆきたいと思えます。

▼師走大祓式 大祓詞を宣る(12月31日)



▲師走大祓式 祓物を執りて裂く

夏越大祓式 無病息災を祈る茅の輪くぐり神事(6月30日)▼



夏越大祓式 毎年多くの皆さまがご参列になります▲

大祓は、古代から毎年六月の晦日と十二月の大晦日に、半年の罪(つみ)や穢れ(けがれ)を祓い除く儀式として行われてきたもので、現在も宮中を始め全国の神社などでおこなわれています。

古くは、都の朱雀門という大内裏正門の前に、親王・諸王以下百官の男女、またその周辺の里人などが集まり、中臣氏によって「大祓詞」が読まれ、卜部氏によって罪・穢れが祓われました。この時に読まれた「大祓詞」は平安時代に編纂された「延喜式」巻第八に記載されていて、現在も見ることが出来ます。

今日神社で用いられている「大祓詞」は、その「延喜式」祝詞を一部省略し、読み方も少し改めたものが奏上されています。

「祓え」とはどのようなものなのでしょうか

罪や穢れを取り去り清浄へと導く

漠然と「お祓い」という言葉を聞くと、多くの皆さんは「何かわるいものを取り除く」というようなイメージをもたれる方が多いと思いますが、「祓」とは罪や穢れを取り去って清浄に導くことです。

その一番の目的は、生まれ出たときの様な清らかな本性を顕すことです。つまり、神さまから授けられた本来の姿に帰ることを指します。

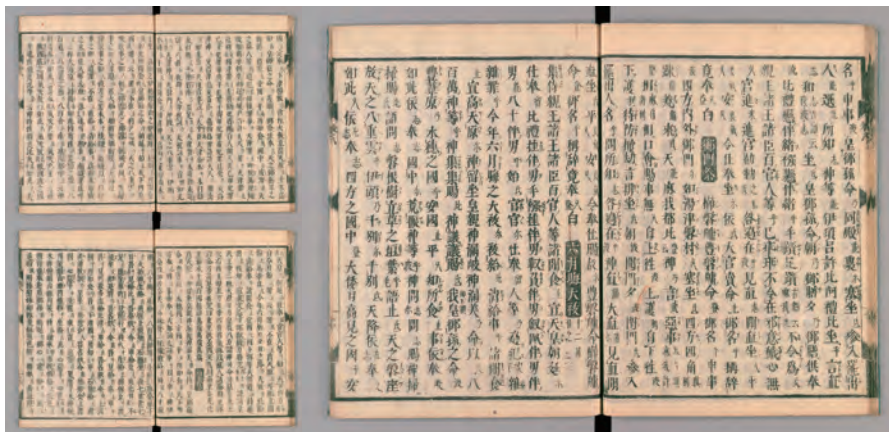
そのため、清浄を尊ぶ神道では、様々な祭りや神事あるいはお祈りなどの前には必ず「修祓」と言われるお祓いをおこないます。

これは、神職や神具そして、参列者などを清浄に導くために必要不可欠な神事です。もちろん、大祓式の前にもおこない、清浄に清浄を重ねて儀式に臨みます。

大祓詞

おほはらへのことば
 高天原に神留り坐す 皇親神漏岐 神漏美の命以ちて 八百萬神等を神集へに集へ
 賜ひ 神議りに謀り賜ひて 我が皇御孫命は 豊葦原水穂國を 安國と平けく知ろし
 食せと 事依さし奉りき 此く依さし奉りし國中に 荒振る神等をば 神向はしに
 向はし賜ひ 神掃ひに掃ひ賜ひて 語向ひし 磐根樹根立 草の片葉をも 語止めて
 天の磐座致ち 天の八重雲を伊須の千列きに千列きて 天降し依さし奉りき 此く
 依さし奉りし四方の國中と 大倭日高見國を安國と定め奉りて 下つ磐根に
 宮柱太敷き立て 高天原に千木高知りて 皇御孫命の瑞の御殿仕へ奉りて 天の御蔭
 日の御蔭と隠り坐して 安國と平けく知ろし 食さむ國中に成り出でむ 天の益久等が
 過ち犯しけむ 種種の罪事は 天つ罪 國つ罪 許許太之の罪出でむ 此く出でば
 天つ宮事以ちて 天つ金木を本打ち切り 末打ち断ちて 千座の置座に
 置き足らはして 天つ菅麻を本刺り断ち 末刺り切りて 八針に取り辟きて
 天つ祝詞の大祝詞事を宣れ
 此く宣らば 天つ神は天の磐門を押し披きて 天の八重雲を伊須の千列きに千列きて
 聞こし食さむ 國つ神は高山の末 短山の末に上り坐して 高山の伊須理 短山の
 伊須理を掻き別けて聞こし食さむ 此く聞こし食して 罪と言ふ罪は在らざと
 科戸の風の天の八重雲を吹き放ち 朝の御霧夕の御霧を 朝風夕風の吹き
 拂ふ事の如く 大津邊に居る大船を 舳解き放ち 舳解き放ちて 大海原に押し
 放つ事の如く 彼方の繁木が本を 焼録の紋録以ちて 打ち掃ふ事の如く
 遣る罪は在らざと 祓へ給ひ清め給ふ事を 高山の末 短山の末より
 佐久那大理に落ち多岐つ 早川の瀬に坐す 瀬織津比賣と言ふ神 大海原に
 持ち出でなむ 此く持ち出で 往なば 荒潮の潮の八百道の八潮道の潮の八百會に坐す
 速開都比賣と言ふ神 持ち出で 往なば 此くかか吞みて 此くかか吞みて ば 氣吹戸に坐す 氣吹戸主
 と言ふ神 根國 底國に氣吹放ちて 此く氣吹放ちて ば 根國 底國に坐す
 速佐須良比賣と言ふ神 持ち佐須良ひ失ひて 此く佐須良ひ失ひて ば 罪と言ふ
 罪は在らざと 祓へ給ひ清め給ふ事を 天つ神國つ神 八百萬神等共に 聞こし食せ
 と白す
 神社本廳藏版 より

▲大祓詞(口語訳) ひとりの神さまではなく、沢山の神さまの協力により罪や穢れが浄化されていく様子がまるで、『美しい詩』のように格調高い文調で書かれています。



▲寛政7年(1795)に出版された延喜式卷第八(神祇・祝詞)の写本 中段より大祓詞が記されています。 出典:国立国会図書館デジタルコレクション

では次に、「罪」と「穢れ」の概念について考えてみることにしましょう。

「罪」とはなんでしょう

罪の観念は時代とともに変遷しますが、恐怖を抱かせる反社会的行為・疫病・災禍などのことを指します。

「穢れ」とはなんでしょう

「穢れ」の解釈は時代と共にその捉え方が拡大し、細分化されますが、自然発生的な現象により、物事の清浄、心の静謐を乱すものを指します。





▲昨年の夏越大祓式では、清めの雨が降りました

祝詞の中の祝詞 大祓詞

「言霊(ことだま)」に込めた

「祓い」と「清め」

古くは「中臣祓詞(なかとみのほらえことば)」として、奈良時代以前から存在したともいわれ、一、二〇〇年以上の歴史をもつとても古い祝詞です。

平安時代に編纂された延喜式の中にも、長文の祝詞は沢山ありますが、大祓詞が一番長く、現在、小國神社で奏上されている大祓詞も最も長い祝詞の一つです。

祝詞の中の祝詞とも言われるほど完成度の高い文体で、文学的にも高く評価されています。また、恒例の大祓式以外にも様々なお祓いで用いられることから「万能祈願祝詞」とも言われることがあります。

大祓詞は次にお示しする四つの場面に分けることができます。

はやかわ
瀬に坐す

せおりつひめ
瀬織津比売

しおやほあい
潮の八百會に坐す

はやあきつひめ
速開都比売

▶夏越大祓式 清々しい表情のお二人



「大祓詞」に現れる
豊かな祖先のこころ

日本人の自然観が生んだ
壮大なストーリー

その1

大祓詞の冒頭は、高天原(天上界)に鎮まる神漏岐命(カムロキノミコト)、神漏美命(カムロミノミコト)と八百万の神々が会議を重ねられた後、皇御孫命(スメミマノミコト)へ豊葦原水穂国(日本の美称)を高天原のような安らかな国として平和に治めるようにと使命を与えました。その後、地上の荒ぶる神々を鎮め、天上の高天原から地上へ降臨しました。

その2

地上へ降りた皇御孫命(スメミマノミコト)は国の中心を大倭日高見国(オオヤマトヒダカミノクニ)と定めて、そこに立派な宮殿を建てて平和で安定した国として治めていました。ところが国内では、どうしても様々な罪や穢れが発生してしまいます。

その3

そこで、皇御孫命(スメミマノミコト)は様々な罪や穢れが発生した際に、それらを消し去る方法を教えました。

その方法とは、高天原(天上界)で行われている神事(お祀り)に従ってお祓いを行い、「天つ祝詞の太祝詞事」を奏上して、神々にお祈りを申し上げるならば、神々はその願いを聞き入れて下さるのである。と述べます。

その4

「天つ祝詞の太祝詞事」をお聞き届け下さった神々(セオリツヒメ・ハヤアキツヒメ・イブキドヌシ・ハヤサスラヒメ)のお働きにより、人間たちの全ての罪や穢れがなくなっていく様子が表現されています。

大まかな内容をご紹介しましたが、これだけでも、大祓詞が伝えるストーリーの壮大さがお解りいただけたかと思えます。

そこには、鮮やかな表現で古代の日本人が大切にしてきた自然観がいきいきと書かれています。

作者不明の 不思議な祝詞

大祓詞は、約九〇〇の文字から構成されています。(仏教の「般若心経」は約二八〇文字。この三倍)この祝詞の文章については諸説ありますが、誰が作ったものかは未だ明らかになっていません。

神道には、教祖や教義、教典がないように、大祓詞も特定の個人が創り出したものというよりかは、私たちの祖先が神々との長い営みを共にすることごく自然に出来上がったきたものと考えられます。

また、大祓は、個人を対象にしたお祓いに留まらず、全体、公に対するお祓いでもあります。いわば「国民全員」、**「社会全体」**の罪や穢れ、そして、災いを取り除くためのお祓いといえます。

恒例としては、六月、十二月の晦日、大晦日に行われていますが、悪疫の流行や天災などの異変があったとき、あるいは天皇崩御の際や大嘗祭のときなどの重要な国の儀式が伴うときなどにも行なわれてきました。

いぶきど
ま
気吹戸に坐す

いぶきど
ぬし
気吹戸主

ねのくに
根国、

そのくに
ま
底国に坐す

はやさすらひめ
速佐須良比売

結びに

本特集では、大祓をとりあげてまいりましたが、神社で行う数々のお祭りには、私たちの祖先が、人の手が及ばない様々な事象に対し、真摯に向き合い、祈り、そして、乗り越えてきたことをも今に伝えていきます。

この度の騒動により、様々な国際問題、社会問題が浮き彫りになり、人類にとっての新たな課題が生まれてきたように思います。このような時代において、『我が国の祈りの伝統』から学ぶことはとても多いように思います。

職員一同、変わることなく、大神様へ日々の感謝を申し上げ、安寧を願い、祈りを捧げ社務に精進いたしたく存じます。

今年の夏越し大祓式は、六月三十日午後三時から齋行となります

本特集で取り上げた「大祓詞」の深遠な世界観を忠実に表現したアニメーションショートムービーと公式解説サイトを公開しています。

是非、こちらもご覧になって下さい。



おおはらえのことば

時代を通して変わらないう大切なもの、「それは清らかな心」

大祓

おおはらえ

小国神社

一二〇〇年以上前から伝わる「祝詞」(のりと)「大祓詞」(おおはらえのことば)を紐解くと、太古の人々が「はらえ」(生まれ出たときの様な清らかなころになること)を大切にしていたことがとてもよくわかります。

この作品は大祓詞の深遠な世界観をアニメーションで表現をしました。

いにしへのり
古の祝詞

おおはらえのことば
大祓詞の世界への誘い
おおはらえのことば

公式ウェブサイト特設ページで
ムービー公開中



小国神社 おおはらえのことば

検索

社頭動力

初甲子祭の齋行

だ いこく様のお近くでいただく特別な加護

三月二十二日(日)に約五十名の皆さまにご参列いただき、初甲子祭を齋行いたしました。

初甲子祭は、寒明け最初の甲子の日に行います。甲子の日は、ご祭神大己貴命おほみちひが「国作り」を始められた吉日とされています。

当日は、普段は立ち入ることができないご本殿の廻りを歩き、本殿階下に特別に設えた、だいいこく様の宝器「打出の小槌」を手に取り、日々の感謝と祈りを捧げていました。

「コロナに負けないようにお祈りした」などのお声をいただきました。



初甲子祭 ▲



感染症対策を徹底しての祭典の齋行(4月16日) ▲



勸学祭 新中学生による玉串拝礼 ▲



献茶祭 新茶をご神前に供える ▲

勸学祭の齋行

学びの道の始まりは小國神社!!

四月四日(土)午前十一時、勸学祭を齋行いたしました。氏子地区内の新小一年生、新中学一年生と保護者ら約三十名が参となりました。

普段聞き慣れない勸学かんがくという言葉ですが、「学問を勧め励ますこと」を意味します。

ご神前にて子どもたちの健やかな成長に感謝申し上げ、健康で、学び多き学校生活となるようお祈りしました。

児童、生徒らの真剣な眼差しに大神様もさぞ感心されたことと思います。

今後とも、更なるご加護を頂かれ、新しく始まった学校生活の中で、大いに学び充実した日々をお過ごし下さい。

献茶祭の齋行

季節の恵み「福徳神饌茶」を大神様に供え日々の感謝を伝えさらなるご加護を

四月十六日(木)に献茶祭を齋行いたしました。

献茶祭では、薫り高い銘茶の産地森町で茶業を営む方々により結成された『小國神社献茶会』が摘みだての「福徳神饌茶」をご神前にお供えし、国の平安、国民の繁栄、そして茶業の振興を祈ります。

本年は煎茶道 黄檗弘風流中山弘薫様、紋谷弘光様よりお点前のご奉仕をいただき、森町茶商組合長松浦芳雄様、森町長太田康雄様を始め、ご関係の皆さまにご参列賜りました。

近年、お茶が免疫力向上に効果があることが証明され、お土産としても大変人気の品となっています。

クマガイソウの開花

自然豊かなご神域を大切にしましょう

本年は、例年にも増してご神域の花々が美しく咲き揃いました。

中でも、見事な花をつけたクマガイソウ(和名アツモリソウ)は環境省により、レッドリストの絶滅危惧II類(VU)の指定を受けていて、本県におきましてもレッドリストに登録されています。

坂部哲之著「小國神社の花々増補版」にも記載され、貴重種であることに触れています。

様々な生物が共存するこの美しい癒やしの杜を次世代へ継承してゆかなければなりません。



▲クマガイソウの開花



▲ショートムービーハイライトシーン

一宮の水と環境を守る会によるショートムービー "sowing seeds" が遂に完成!!

大 神様の恵み、清らかな「一宮の水」を通して
考える人と自然

この度、氏子地区で活動する、一宮の水と環境を守る会（会長 榊原淑友）による一宮の水環境を多面的に捉えたショートムービーがYouTubeに公開されました。

制作に二年の歳月をかけて作られた作品は、その深い内容と映像の美しさから公開より日に日に再生回数を伸ばしています。

本作品は、小國神社の元宮奥磐戸神社が鎮まる本宮山より湧き出る「清らかな水」が、川となり、一宮の里を潤しつ、海へ注ぎ、漁場をも豊かにし、再び雨となり山へ降り注ぐまでの『大自然の営み』と、そこに住む『人々の営み』を鮮やかに映し出しています。祖先から受け継がれた神々への感謝と日々の平安を祈りながら暮らす生き方は、「ふるさとと清らかな水」を守ってきました。

Sowing seeds ～今日も種を蒔く～
YouTubeにて絶賛公開中



宮代神饌田 御田植祭

お 米は神さまからの大切な授かりもの

五月二十四日(日)宮代神饌田において、奉耕者の筒井輝男様、内山博文様ご参列のもと田植え初めの祭り御田植祭を執り行いました。我が国において『お米』は、神さまからの授かり物として大切に受け継がれてきました。そして、その生育を願い幾重にも祭りが執り行われ、日本文化の礎を築いてきました。

当社の御田植祭も古くから行われ、現存する最も古い記録書「延宝の記録」にもその様子が記された由緒ある神事です。

かつては例祭に準ずる重要な祭りとして、祭日の朝、神輿の渡御が行われ、神輿の屋根には菖蒲を飾り付け、帯刀者が左右を警備し、社僧（神社に所属して仏事を修した僧）や惣村の有力者が供奉しました。

平成十一年に現存する資料や伝承をもとに古儀の一部を復興し現在にいたります。

端午祭の斎行

子 宝、子どもたちは国のたからです

五月五日(日)午前十一時、端午祭を斎行いたしました。本年は、感染症拡大防止に留意し、ご参列をお控え頂き、神職・巫女でのご奉仕となりました。

ご神前には、菖蒲と柏餅がお供えされるなか、当社で命名した一〇八名のお子様方の芳名帳を大前に奉安し、健やかな成長をお祈り申し上げました。

端午の節句は「菖蒲の節句」とも呼ばれ、江戸時代に民衆に広がったとされています。菖蒲は尚武にも通じることから、男子の健やかな成長を祝うものとなり、今日では子供たちの健やかな成長を祈るお祭りとなりました。来年は、多くの子どもたちが参列になり、賑やかなお祭りになることを心より願います。

本宮山青葉祭の斎行

爽 やかな初夏の風が吹く、青葉薫る本宮山

爽やかな薫りが心地良い文字(クロモジ)の木で飾った、本宮山奥磐戸神社の大前で斎行いたしました。本年は、感染症防疫の為、神職と登拝者での斎行となりました。祭典では、神様の豊かな恵みに感謝し、国の隆昌と地域の平安、氏子崇敬者の安泰、そして、感染症の一日も早い鎮静化をお祈りいたしました。

毎月、六日の九時三十分頃から月次祭（国と地域の平安と、氏子崇敬者の安泰を祈るお祭り）で、この日にお参りすると縁起が良いとされています。

どなたでもご参列ができますので、皆さまお誘い合わせの上、ご登拝下さい。

本宮山奥磐戸神社へのアクセスは

本宮山奥磐戸神社 アクセス

検索

端午祭 豊栄舞の奉奏



宮代神饌田御田植祭



本宮山青葉祭 挨拶を述べる宮司



これからの 行事

12月



一年の締めくくりに相応しい“秋色”の宮川



師走大祓式



12月31日(木)午後3時より、師走大祓式を斎行いたします。下半期の罪穢れをお祓いし、清々しく新たな年を迎えることができます。どなたでもご参列ができますので、ご家族皆様でご参列下さい。



疫神齋

11月19日(木)午後2時より、疫神齋を斎行いたします。この祭典は、当社に古くより伝わる特殊神事の一つです。当社の古記録『延宝の記録』にも記載があり、疫病退散の祀りです。



つきなみさい

月次祭ご参列のご案内

「つきなみ」とは毎月
平和と安全を祈る大切なお祭りです
日時：毎月1日・18日9時より(約30分程度)
場所：小國神社拝殿

月次祭は、毎月欠かさずに行われ、神職が日本国、また地域の平安と、氏子崇敬者の安泰を祈ります。月参りともいわれ、この日にお参りするとご加護が受けられるともいわれています。歴史的にも大変古く、その始まりは、平安中期に編纂された延喜式にも「月次祭」の記述があります。

事前申込みなどは必要ありません。どなたでもご参列できます。ご参列の際は、祈禱受付にてお声かけください。

11月

霜月

1日	月次祭	(午前 9時)
3日	明治祭	(午前 9時)
6日	本宮山月次祭	(午前10時)
7日	山神社例祭	(午前 9時)
15日	七五三祝祭	(午前 9時)
17日	甲子祭	(午前 9時)
18日	月次祭・稲祭	(午前 9時)
19日	疫神齋	(午後 2時)
21日	地鎮祭	(午前 9時)
23日	新嘗祭	(午前10時)
	奉納農産物品評会	(午前10時)
28日	紅葉祭	(午前11時)
29日	もみじまつり	(午前10時)

12月

師走

1日	月次祭	(午前 9時)
6日	本宮山月次祭	(午前10時)
12日	鎮火祭	(午後 3時)予定
18日	月次祭	(午前 9時)
18日	滝宮例祭	(午前10時)
18日	初穂献納祭	(午前11時30分)
25日	煤佛祭	(午後 1時)
31日	大祓式・除夜祭	(午後 3時)

小國神社の 祭典・

8月～

令和2年11月27日(金)より12月6日(日)まで

日本野鳥の会遠江

秋の野鳥写真・イラスト展開催!!!

場所：研修室

遠州地方で観察ができる野鳥をご紹介します。
普段では、なかなか見ることができない野鳥の姿や生態系を写し取った貴重な写真やイラストが展示されます。

本展にお越し頂き、自然に配慮した社会や暮らし方を考える一端になれば幸いです。

8月

はづき
葉月

- | | | |
|-----|--------|---------|
| 1日 | 月次祭 | (午前 9時) |
| 6日 | 本宮山月次祭 | (午前10時) |
| 18日 | 月次祭 | (午前 9時) |

9月

ながつき
長月

- | | | |
|-----|----------|---------|
| 1日 | 月次祭 | (午前 9時) |
| 6日 | 本宮山月次祭 | (午前10時) |
| 18日 | 月次祭 | (午前 9時) |
| | 甲子祭 | (午前 9時) |
| 22日 | 秋季皇霊祭遙拜式 | (午前 9時) |

10月

かなづき
神無月

- | | | |
|-----|----------|---------|
| 1日 | 月次祭 | (午前 9時) |
| | 宮代神饌田拔穂祭 | (日時未定) |
| 6日 | 本宮山月次祭 | (午前10時) |
| 11日 | 白鬚神社例祭 | (午後 3時) |
| 17日 | 神嘗奉祝祭 | |
| | 神嘗祭遙拜式 | (午前 9時) |
| 18日 | 月次祭 | |
| | 福神像頒布式 | (午前10時) |



秋季皇霊祭遙拜式

9月22日(火)、宮中では歴代の天皇・皇后・皇親の霊を祀る祖霊祭『秋季皇霊祭』が厳かに行なわれます。当社では、同日に皇居内の皇霊殿の方向に向けて拝礼し、皇室の弥栄と国の安寧を祈ります。



新嘗祭

11月23日(月)10時より、大神様へ1年の収穫と諸産業発展の感謝を申し上げる新嘗祭を斎行し、奉納農産物の即売会や篤志奉納者への感謝状の贈呈式も執り行います。年間の祭典の中でも最も重要な祭祀の一つです。





新茶で健やかに明るい毎日を

公益社団法人 静岡県茶業会議所 専務理事

伊藤智尚



茶農家と意見交換する伊藤専務理事▲

新緑の中、静岡県の茶畑が萌黄色に染まり、新茶が楽しみな季節になってまいりました。この度は、貴重な機会を頂きましたこと、改めて御礼申し上げます。ここでは、今回の新型コロナウイルス感染症騒動のなか、健康増進の効果が改めて注目された静岡の名産品であるお茶についてお話しさせていただきます。

さて、今年の八十八夜は五月一日でした。八十八夜は、立春から数えた日にちで、この頃から霜が降りにくくなり、茶の芽が元気に伸びていきます。里から始まったお茶摘みは、次第に山間地に入っていくと、本格化していき

ます。静岡県内のお茶の栽培の歴史は古く、室町時代には袋井市で、鎌倉時代には静岡市で栽培が始まったとされています。

そもそもお茶は、ツバキやサザンカと同じ仲間の常緑樹です。日本では、



▲目にも優しい茶畑の風景 撮影協力:株式会社 一宮(森町)

静岡県や鹿児島県などの温暖な地域で栽培されています。静岡県の平均気温は十六・五度、年間降水量は二三〇〇ミリと多く、牧之原台地のような平地から、森や天竜、川根、静岡などの山間地まで良質なお茶生産が続いてまいりました。

日本でのお茶は、鎌倉時代には抹茶として飲まれ、それを発展させて安土桃山時代には千利休が「茶の湯」を完成させました。今のようなお茶(煎茶)の飲み方は、江戸時代に京都の永谷宗円によって整えられました。春先の若葉を摘み取り、直ぐに水蒸気で蒸して、葉の中に含まれる「酵素」を働かないようにして、焙煎という台の上で、手揉みして針のような形状になるまで乾燥させます。現在でもこの手揉

みの方法を、機械に置き換えて製造を行っています。ちなみに蒸す時間が三〇秒から四〇秒の普通の時間のお茶が「普通煎茶」、六〇秒から一二〇秒の長い時間のお茶が「深蒸し煎茶」といわれています。山間地のお茶は、川霧などの影響で、日照時間が少なくなり茶芽の伸びがゆっくりで柔らかいことから、普通煎茶で作られることが多いです。一方、牧之原台地のように日照時間が長い産地では、葉の成長も早く厚めになるため、深蒸し煎茶が作られることが多くなっています。

お茶を大きく分類すると、緑茶、ウーロン茶、紅茶に分かれますが、これらは皆同じ茶の葉から作ることができます。緑茶は、生の葉に含まれる酵素の働きを、直ぐに熱を加えて止めたものです。ウーロン茶は、酵素を少し働かせてから加熱して、酵素の働きを止めたものです。紅茶は、酵素を十分に働かせてから加熱して、酵素の働きを止めたものです。先ほど、緑茶の加熱に水蒸気を使う方法の



心と身体の健康に大人気の冷茶が手軽に楽しめる
フィルター付ボトル
撮影協力:鈴木長十商店
(小國こまち横丁)



新茶をご神前にお供えします▲

説明をしましたが、これはきれいな水がふんだんにある日本独特の製法です。これ以外に鉄鍋などで酵素の働きを止める釜炒り製の緑茶もあります。

その他、緑茶には、新芽を寒冷紗などで覆いをして遮光し、旨味の素であるテアニンというアミノ酸を増やした玉露やかぶせ茶、覆いをしたお茶を蒸した後は揉まずに、熱風で乾燥させた碾茶を石臼で挽いて作る抹茶などがあります。

お茶には様々な栄養成分が入っています。旨味成分であるテアニン、渋味成分はポリフェノールの一種のカテキン、苦味はカフェインに代表されます。このほかビタミンA・C・Eなども含まれます。ビタミンCは、一般には熱に弱いことで知られていますが、お茶

はカテキンがビタミンCを守る働きがあるので、お湯で淹れても壊れにくい食品です。

お茶を美味しく淹れるには、お湯の温度に注意をする必要があります。旨味のアミノ酸類は、お湯でもお水でも関係なく溶け出します。一方、カテキンはお湯の温度が高くなるにつれて溶け出します。カフェインは低温では溶け出しにくいのですが、高温になると一気に溶け出します。つまり、ぬるめの温度では、旨味や甘味の濃いお茶になり、熱湯では苦味や渋味を感じる強い味のお茶になり、バランスが良いのは七〇度くらいの温度となります。

六月に入り、これからますます暑くなっていきますので、お洒落なワイン瓶の形状の「フィルター付ボトル」などを使って、水にお茶を入れて冷蔵庫で一時間以上冷やしておくと簡単に美味しいお茶ができあがります。特に、最近話題の免疫力を高めるお茶の成分の「エビガロカテキン」は、水出しの緑茶に多く含まれています。水から出した緑茶は濃くなく誰でも失敗なく作ることが出来ます。また、水出し緑茶を温かくしたければマグカップに入れて電子レンジでチンすれば濃くない旨味のあるお茶ができていきます。

健康管理の面では、緑茶のインフルエンザの予防効果などが知られています。緑茶カテキンがインフルエンザな



▲献茶祭 国家の安寧と茶業振興を祈ります

どのウイルスの表面にあるカギ状の突起（スパイク）に結合し、人間の細胞に吸着できないように作用します。また、旨味成分のテアニンにはストレスを減らす効果や、カフェインの興奮を抑える働きもあり、不安を鎮めリラックス効果を高めることも期待できます。お茶を日々の生活に取り入れ、病気の予防を行うことは、考えてみれば、八〇〇年以上前から行われてきた先人たちの知恵の結晶であり、医食同源ともいえると思います。

小國神社には、毎年家族で初詣に行きます。車を購入した際も、交通安全のご祈禱を受けるなど、折に触れて参拝させていただいております。

毎年四月には献茶祭が開催され、森町の茶業者で組織する小國神社献茶会の皆様が国家の安寧と国民の繁栄、茶業振興を祈り、煎茶を神饌（お供え物）としてお供えされていると伺っております。さらには、毎月の月次祭に

併せて献茶会の皆様がお茶をご神前に奉納し、日々の安寧をお祈りされています。

昨今、不安なことも多く心が塞がりがちな世の中ですが、小國神社に参拝され、清々しい心になり、森の銘茶を味わいながら、一日一日を無事に過ごせたことに感謝して穏やかに暮らすことは、「こころ」と「からだ」の健康に大きく作用し、良い影響を与えることと思います。

お茶の健康パワーで、皆様が健やかに明るい毎日をお過ごしなさいますことを心よりお祈り申し上げます。

プロフィール

公益社団法人 静岡県茶業会議所
専務理事

伊藤智尚

昭和34年 浜松市生まれ。
大学卒業後、昭和57年静岡県庁入庁。
農業分野の技術屋として、
本庁や農林事務所に勤務。
平成31年退職。令和元年6月から現職。
写真の「静岡茶屋」の職は、美味しく
静岡茶が飲める場所を示したもの。
趣味は、JAZZ鑑賞とドライブ、食べ歩き



静岡県
茶業会議所
HP



天皇陛下 御即位記念

令和の お屋根替え

次世代へ繋ぐ 祈り・技・美



ご奉賛のお願い

小國神社では、令和の御代替わりをお祝いし、天皇陛下御即位記念『令和のお屋根替え』〜次世代へつなぐ祈り・技・美〜を、四年の歳月をかけ、御本殿以下社殿群のお屋根の葺き替え工事をおこないます。

当社の御本殿以下社殿のお屋根は、日本唯一の伝統技法「檜皮葺」（檜の皮で屋根を葺く技法）で葺かれた屋根です。古来より、その造形の柔らかな曲線と風合いに代表される繊細な優美さは、日本の風土と調和してきました。古典文学「枕草子」には、『雪は檜皮葺、いとめでたし。すこし消えがたになりたるほど。』と綴られ、白雪と檜皮の屋根が織りなす色の絶妙なコントラストが風情豊かに表現されています。

また、定期的な葺き替えが必要であることが示すように、材そのものの美しさを喜び讃え、清らかな状態を大切にしてきた私たちの祖先が造りだした「日本の美」であり、古より変わることのない神様への「祈り」が、その「技」と「美」を護り伝えてきました。

しかしながら、現在、御本殿以下社殿のお屋根は、古いものでは六十余年、新しいものでも四十余年の月日が経過しております。檜皮を使ったお屋根はたびたび補修を施して参りましたが、耐用年数を考慮するとき、葺き替え工事に着手するべきと判断致しました。

つきましては、ご祭神、大己貴命が鎮まる御本殿をはじめ社殿の常若（いつまでも若々しくあること）に努め、先人が護り伝えてきた、「祈りの精神文化」と貴重な「伝統技術」を次世代につなぎ、より一層神さまのご加護を戴けますよう、本事業を進めて参りたく存じます。

世情厳しい折かと存じますが何卒、趣旨をご理解いただき、ご支援、ご奉賛を賜りますようお願い申し上げます。

遠江国一宮 小國神社
小國神社崇敬奉賛会
天皇陛下御即位記念事業「令和のお屋根替え」
募財委員会委員長 龜山 銀男
宮司 打田 文博
会長 鈴木 覺

募財期間：令和元年 8月 1日から
令和 5年10月30日まで
総予算：3億5,000万円

工期日程

- 第1期工事 令和2年1月14日～ 3月31日：真名井(完工)
令和2年2月12日～10月20日：神徳殿・渡り殿(着工)
- 第2期工事 令和3年2月12日～10月30日：御本殿
令和4年2月12日～ 5月30日：並宮
- 第3期工事 令和4年4月20日～12月10日：拝殿
令和5年2月12日～10月30日：中門、幣殿

お屋根替えにともなう主な文化事業 (葺き替え工事現場見学会)

屋根葺き替え作業の様子を一般公開いたします。
日程、お申し込み方法は、改めてお知らせいたします。

ご寄付に関する詳しいお問い合わせは、
小國神社崇敬奉賛会事務局までお願いいたします。

○お問い合わせ先：小國神社崇敬奉賛会事務局
〒437-0226 静岡県森町一宮3956-1
電話：0538-89-7302

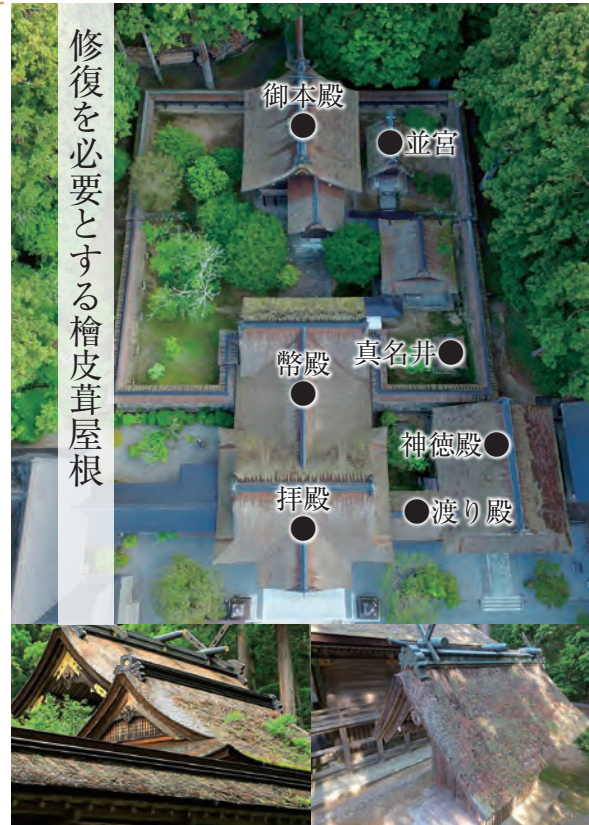
Email oyanegae@okunijinja.or.jp
「令和のお屋根替え」～次世代へつなぐ 祈り・技・美～
公式WEBサイト okunijinja.or.jp/oyanegae/



奉賛金について
社務所にてお申し込みができます。
(その他の方法をご希望の方は事務局までお問い合わせ下さい)

永い年月に亘って雨風に晒された屋根は、損傷や経年劣化、植物の侵食などが確認できます。

修復を必要とする檜皮葺屋根





令和のお屋根替え

檜皮葺

一三〇〇年にわたって継承される、優雅な造形美と日本の風土に適応した「用と美」の伝統技法

小國神社のお屋根は、日本古来の伝統技法「檜皮葺」（檜の皮で屋根を葺く技法）で葺かれた屋根です。

飛鳥時代に広まり、奈良時代では上級建築に用いられ、平安時代には最も格式の高い屋根工法となり、神社建築などに用いられました。

樹齢百年以上の檜を伐採することなく皮だけを採取し、職人の手によって仕上げられる檜皮葺屋根は、三十年以上の雨風から御社をまもる機能性と繊細で美しい曲線美を兼ね揃えた、国外には例を見ない日本特有の文化資産としても認知されています。



株式会社 村上社寺工芸社

大正4年創業。兵庫県丹波市で100余年の歴史をもつ。日本古来の技法で、国の選定保存技術に指定されている檜皮葺・柿葺の職人技術をもち、国内の国宝・重要文化財等社寺仏閣の屋根を葺く。創業年に「遠江国一宮 小國神社 檜皮葺屋根の葺替え」を施工した記録が残る。



創業当時の記録



▲真名井 鬼の取り付け作業



▲真名井の完工 屋根を確認する宮司

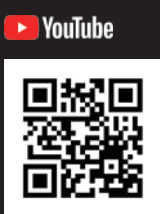


▲渡り殿の軒付け作業と調査風景

進捗状況
現在、真名井のお屋根の修復が完工し、神徳殿のお屋根に着工しています。(令和二年五月現在)



檜皮を整える村上社寺工芸社の職人達



綴皮工程の動画がご覧頂けます。

職人の技【片手で竹釘を打つ】



20~30 本程の竹釘を口に含み、舌を使って一本ずつ口から釘を出します。金槌を握る手で釘を掴み、屋根金槌の「伏金」と呼ばれる部分で檜皮に差込み、金槌で打ち込みます。金槌の格子状の溝により竹釘の頭が潰れ、抜けない形状で完全に打ち込まれます。



片手釘打の動画がご覧頂けます。

天皇陛下御即位記念

令和のお屋根替え

次世代へつなぐ祈り・技・美

『ご奉賛の皆さま』

お陰をもちまして、多くの皆さまに天皇陛下御即位記念「令和のお屋根替え」の趣旨をご理解頂き、ご支援、ご奉賛を賜りますこと篤く御礼申し上げます。

現在、真名井の葺き替え工事が完工し、神徳殿（祈祷殿）の工事に着手しています。

ご奉納頂いたご浄財は造営資金として大切に活用させていただきます。

職員一同、更なるご神徳の発揚に努めますので、今後とも変わらぬご崇敬を賜りますれば幸いに存じます。ここに、ご芳名を掲載し改めまして重ねて御礼を申し上げます。

金一封

- 鷹 鈴翔組
- 庵原みさよ
- 林 誠一
- 森田 準也
- 渡辺 敏代
- 成瀬 大星
- 櫻木 太
- はるいちご園
- 増田 春男
- 佐野 賢一
- 中村 哲也
- 大橋 郁哉
- 山田 明美
- 田尻 真
- 竹内波留加
- 袴田 祐子
- 長沼 俊哉
- 中村 知代
- 小粥 暁斗
- 齊藤 香織
- 齊藤 保隆
- 伊藤 英子
- 西川 奈保美
- 長谷川 文子
- 稲葉 正治
- 稲葉 まり
- 稲葉 愛実
- 坂部 哲之
- 内山 美保
- 太田 佳納江
- 渡邊 清美
- 高橋 富夫
- 山本 紘夢
- 杉本 明史
- 齊藤 邦子
- 丹羽 健
- 丹羽 佳代
- 平石 泰裕
- 保坂 直起
- 小出 千恵
- 福地 洋子
- 宗像 博
- 森下 健志
- 高宮 朝昭
- 高宮 真由美
- 吉原 元彦
- 永田 清人
- 伊藤 明美
- 小粥 紗奈
- 田中美智子
- 梅田 智美
- 梅田 吉宏
- 平岩 綾乃
- 遠藤 徹
- 遠藤 伸子
- 池田 晃久
- 天野 真弓
- 山野 千鳥
- 大本 悦子
- 小野 恵美子
- 鈴木 利子
- 松本 孝代
- 高津 尚子

壹百萬円以上

- (株)久米吉
- 代表取締役 倉島 正三
- 亀山 銀男

壹拾萬円以上

- 神馬 健
- 佐竹 篤郎
- 鈴木 正利
- 下原 融
- 鈴木 宏明
- 山田 實
- 亀山 幸志
- 大場 啓雄
- 大場 浩明

壹萬円以上

- 新貝町甲子講 大塚 義則
- 小池 諭
- 松島 正幸
- 高柳 浩
- 甲賀 兌右
- 齊藤 秀治
- 小池 謙吾
- 小池 清
- 伊藤 英次
- 鶴見 薫
- 米山 茂昭
- 野口 榮一
- 高木 一広
- 天野 忠正
- 山下 直彦
- 鈴木 猛
- 大場 一馬
- 高木 千秋
- 中島 久男
- 宇野 徳治
- 鈴木猪佐男
- 高木 政芳
- 小澤 和宏
- 有村 開順
- 鈴木ふさ子
- 小池 勝信
- 神麻 照代
- 藤田 祐一
- 神宏クリーン
- サービス(株)
- 代表取締役 神馬 宏史
- 齊藤 裕子
- 鈴木 一寅
- 大場 あい子
- 木下 篤
- 袴田 絵里加
- 北島 正一
- 佐藤 敬子
- 鈴木 浩二
- 小柴 重信
- 大井 博美
- アートフォース M&K
- 亀岡 光則
- 大道 卷男
- 齊藤 悠
- 伊藤 光男
- 高田 勝巳
- 長野 律子
- 大石 明臣
- 河野 久子
- 牧野 百里子
- 小澤 芳虎
- 山下 秀二

五拾萬円以上

- (株)葉匠あさおか
- 浅岡 英明
- 大場 弘一
- (有)富士鉄工
- 鶴見 和弘
- (有)政和電気
- 中根 正太郎
- 屋代 征治

五萬円以上

- 神馬 健
- 佐竹 篤郎
- 鈴木 正利
- 下原 融
- 鈴木 宏明
- 山田 實
- 亀山 幸志
- 大場 啓雄
- 大場 浩明
- 小池 敏明
- 高津 尚子
- 時田 義人
- 神崎 政雄
- 千葉 崇
- 高柳猪佐男
- 松下 豊

参拾萬以上

- 鈴木 功
- 小國 広徳

※令和2年3月1日～令和2年5月31日迄（順不同・敬称略）

新生児選名・命名について

生を受け、生を伝える 「人の一生」

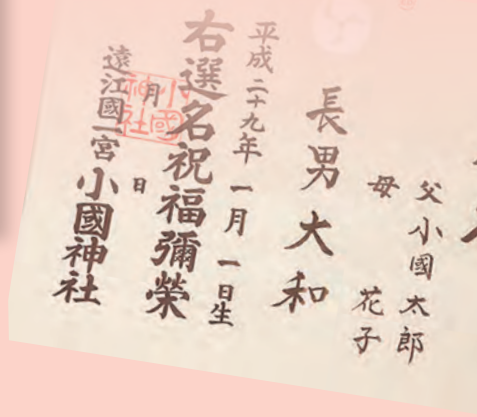
様々な節目を迎えるとき、神さまへ「感謝」と「ご奉告」を行うことは、古来より受け継がれた日本の文化です。

当社では、日本の伝統文化に則した新生児にふさわしい名前を選名いたします。また、ご家族で考えられたお名前候補の中からご相談の上、選名いたします。

お名前が決定の後、お子様の無事成長と一生の幸せをご神前でお祈りし、お神札、朱印を押印した命名書を授与しております。
初穂料 一〇、〇〇〇円也



命名



当社で命名奉告をされた皆様 ▶

命名

令和二年三月一日(日)
令和二年五月三十一日(日)

宮野 稀湖 浜松市	村松 薙 袋井市	斎藤ひなの 湖西市
渥美 華果 浜松市	北島 蒼都 菊川市	藤浦詩季歌 御前崎市
渥美 朋華 浜松市	村松 桜汰 森町	武田 寿玲 磐田市
竹内 陸人 森町	今井 結月 愛知県	鈴木 琴葉 袋井市
若澤 凌也 浜松市	米井 芽生 埼玉県	阿部 琴羽 袋井市
杉本 理乃 榛原郡	高倉 琉雅 浜松市	花島 大稀 森町
吉田 紗蘭 掛川市	高木菜々香 東京都	鈴木隆之介 浜松市
松浦 立采 掛川市	巖城 燈 袋井市	
戸田 暉人 磐田市	柴田 姫羅 磐田市	

お申し込み方法など詳しくは、小國神社 選名・命名奉告で検索

日本書紀上撰1300年

神社を知れば日本がわかる “まつりの国、日本”



イラスト 小國神社ものがたり
作 たたら なおき

●日本書紀に親しむ ～疫病と祈り～

今もなお、世界は中国武漢市発新型コロナウイルスとの戦いの最中ですが、日本最古の正史『日本書紀』には、日本人はこうした疫病の流行を、長い歴史の中で何度も経験し、乗り越えてきたことが記されています。

崇神天皇5年（紀元前93年）に、疫病によって日本の人口の半分が失われたという記述もあります。そういった国難に対し、崇神天皇は神様をお祀りし、疫病鎮静を祈りました。天照大御神・倭大国魂神の二柱を御所にお祀りしたが収まらず、神託を得て大物主神をお祀りしても収まらず……最終的には、大田田根子命という人物に大物主神を、市磯長尾市と

いう人物に倭大国魂神をお祀りすることで、ようやく日本の国は安寧を取り戻しました。

1300年前に日本国家の「歴史」と「理想」を記した本書からは、先人たちが人智を超えた災いと真摯に向き合い、祈り、そして力を合わせて乗り越えてきたことが伺えます。

現在も、感染状況は未だ油断を許さない状況にある中、私たちの生活は新しい生活様式へと新たなスタートを切りました。改めて「和」の精神に思いを致し、一致協力のもと、一日も早く元の生活に戻れるよう行動していかなければなりません。

ご当地限定参拝土産の 新作を発表!!



本年より誕生した、小國神社明神通り縁結び公式キャラクター「こづち君」「こづち姫」。

明神通り振興会会員の皆様によるお土産ものなど、新作が続きと発表されています。

今回は、赤い急須でお馴染みの太田茶店様がコロナ禍の塞がりちな世の中を明るくしたいとの思いから、新しいお土産を発表されました。

顔ほどの大きさがある柔らかな生どら焼きに可愛らしいキャラクターの焼き印が押されています。

森町の美味しいお茶と一緒に、家族で切り分けながら召し上がってください。



▲森のお茶とご一緒にどうぞ

夏、青葉、もみじ

深まる緑、森林浴のススメ



宮川沿いの青葉もみじを眺めながらスギとヒノキの古木が立ち並ぶ散策路での森林浴は、格別な癒やしのひとときとなります。

「森林浴」は昭和五十七年に日本において提唱された健康法です。現在では、「shinrin-yoku」としてアメリカを中心として世界各国にも浸透しつつあります。

近年では、科学的根拠が数多く示され、ストレスレベルの低下、ワーキングメモリーの改善や、生きていることを実感できる、などの多くの健康効果が期待できます。

癒やしの齋庭で過ごすひととき

編集後記



玉垂五十九号をお届けいたします。まだまだ、油断は禁物ですが、メディアには、「コロナ後」「アフターコロナ」「ウィズコロナ」などと言った言葉も目立ち始めてるように思います。

今回の感染拡大は、様々な社会問題や国際問題を今もなお、浮かび上がらせ続けています。様々な論調のなかで、指摘されることの一つに「真の国際協調の在り方」があります。

このコロナ禍において、中国の公船は、尖閣諸島（沖縄県石垣市）周辺の領海侵入を繰り返し、その数は、過去最多を更新しました。

世界各国が新型コロナウイルスの感染対応に追われるなか、その間隙を縫うようにして、軍事的な存在感をぐっと強めています。

アフターコロナの世界においても、『法の支配に基づいた価値観を有する国々』とさらなる連携をはかり、覇権主義の横暴を封じ込めていくことが大切です。



イラスト：小國神社明神通り縁結び公式キャラクター「こづち君」(左下)「こづち姫」(右上)